

# メガコンソーシアム(仮称)設立について

1000万人を超えるオープンなプロバイダ連携による  
ブロードバンド事業の拡大

2002年4月22日

*Designing The Future.*

**KDDI**

**NEC**

 日本テレコム

松下電器

# 事業環境

---

## 利用者の期待

- ・ 定額常時接続環境は増加しているが、同時に満足できるコンテンツ・サービスも欲しい。
- ・ IP電話やインスタントメッセージなどのコミュニケーションサービスを、異なるプロバイダ間でも利用可にして欲しい。

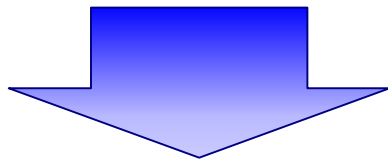
## プロバイダの課題

- ・ 接続サービスは価格競争によって収益性が低下しており、付加価値の高いサービスを事業収益の源泉にしたい。
- ・ ブロードバンドサービスの提供には、コンテンツ、サービスプラットフォーム、光ネットワークなど多額の投資が必要

# 各社の共通認識

---

- ・ブロードバンドサービスの質を高め継続維持する必要性
- ・ブロードバンドサービスの市場拡大を加速させる必要性



各社の強みを活かした  
共存共栄のパラダイムの構築  
～メガコンソーシアム～

1000万人を超えるオープンなプロバイダ連携

# メガコンソーシアムの形成

---

ブロードバンドサービスの事業分野において  
以下の項目についての連携を検討

1. PC向けコンテンツサービスの共同展開
2. nonPC向けコンテンツサービスの共同展開
3. コミュニケーションサービスの共同展開
4. マーケティングサービスの共同展開
5. 新サービスの共同開発

# インターネット利用者のベネフィット

---

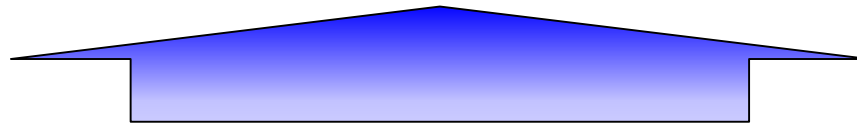
1. ブロードバンドサービスにおいて、充実したコンテンツを適正な価格で享受できる。
2. 1000万利用者の中で、コミュニケーションサービスを享受できる。
3. 多様なデバイスから必要な情報にアクセスし得るユビキタスサービスを享受できる。

## 参画プロバイダのメリット

1. バックボーン、サービスプラットフォーム、iDCなどインフラを相互活用することで、投資の効率化が図れる。
2. コンテンツを共同調達し管理することで、品揃えの拡充と調達コストの削減が図れる。
3. 新サービスを共同開発することで、投資回収のリスクを低減できる。
4. サービス仕様の統一、ポイント制度の連携など利便性を向上することで、利用者の拡大が期待できる。
5. 1000万会員のパワーによるメディア価値の向上が期待できる。

# コンテンツ・サービスの流通 (検討例)

1000万人超会員



## 調達機能

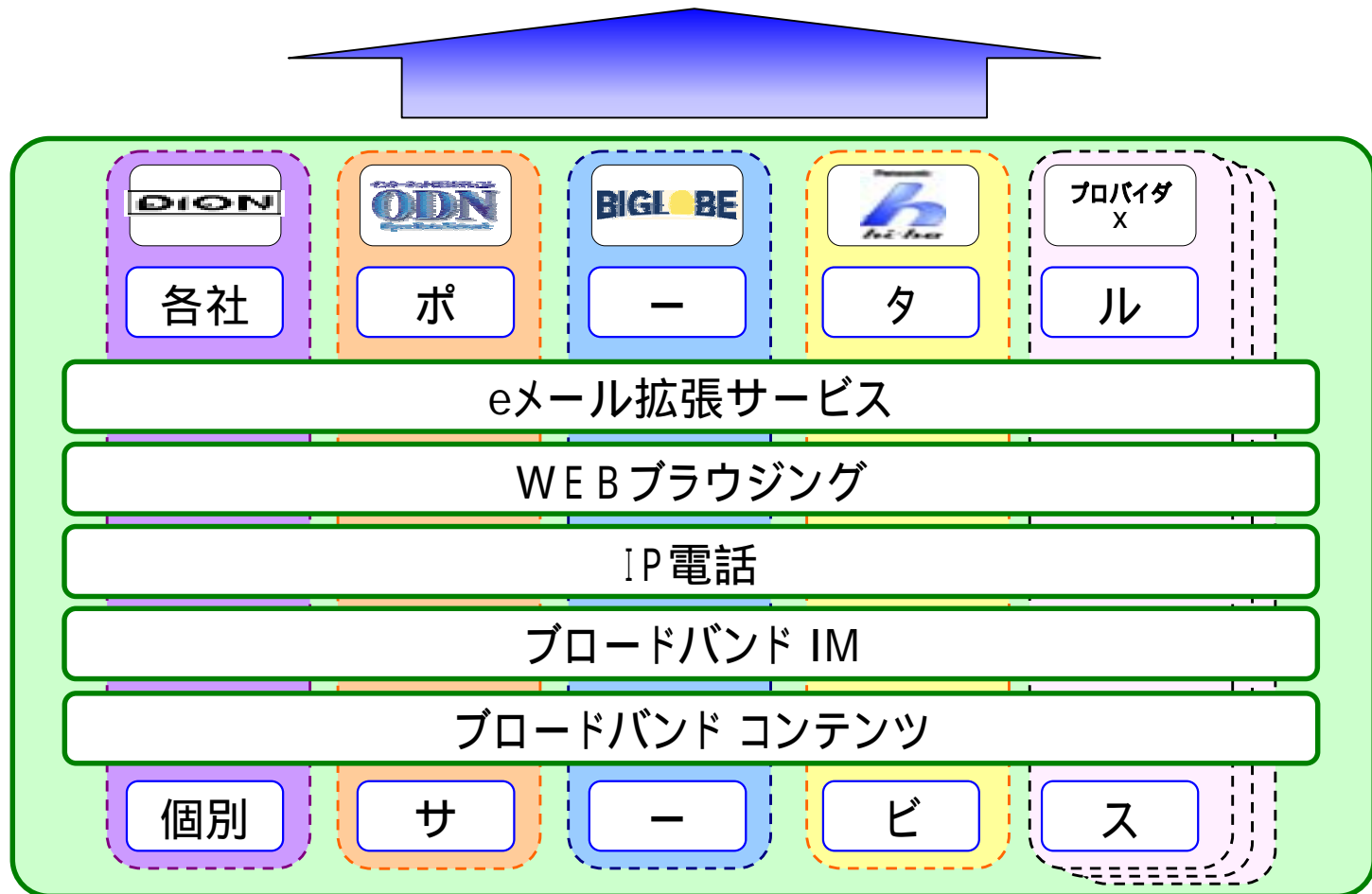
コンテンツ・サービスの  
共同調達

## デリバリー機能

ブロードバンド配信  
機構の共同利用

# ブロードバンドサービスの仕様統一 (検討例)

1000万人超会員



# 参加会社

KDDI



215万人

日本テレコム



190万人

オープンコンソーシアム

NEC



405万人

松下電器



167万人

広く参画を呼びかける

大手プロバイダ

地域プロバイダ

CATV事業者

# スケジュール

---

2002年4月23日～ プロバイダ各社への参画呼びかけ

2002年5月下旬(予定) コンソーシアム設立

2002年6月(予定) コンソーシアム活動開始